



ごみ収集車(パッカー車)の仕組みをみてみよう!



市内のごみを集め、ふじみ衛生組合のクリーンプラザふじみやリサイクルセンター、調布市クリーンセンターへと運ぶごみ収集車。普段目にしていない、身近な働く車の仕組みについて、詳しくみてみましょう! ごみ収集車は、ごみのつぶし方によって種類が分かります。今回は**巻込み式**と**プレス式**の収集車をご紹介します。

巻込み式

市の家庭ごみの収集に使われます。可燃・不燃・資源など、様々なごみの収集に対応できます。回転式の鉄板(回転板)でごみを巻き込んで積んでいきます。

プレス式

市では、パワーが必要な粗大ごみの解体に使用しています。大きな鉄板(プレス板)でごみを挟んで、圧縮しながら積んでいきます。解体作業中は、迫力があります。

1 運転席

運転手と助手の2人1組で収集を行っています。声を掛け合いながら収集をします。



2 収集車の色

調布市の収集車は、鮮やかな**アイスグリーン**色が目印です!



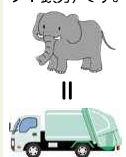
3 荷箱

ごみを積み込むところ。2トン車や3トン車など、車の大きさによって一度に積めるごみの量が違います。※車体の重さではありません。



重さ

収集車の多くは、重さが約4トン(アジアゾウ1頭分)です。



5 汚水タンク

生ごみ等を圧縮した際の水分、雨天時の雨つゆ等、**汚水を貯めておく**ところです。



4 投入口

ごみはここから積み込まれます。回転板やプレス板でごみを小さく圧縮します。

巻込み式

回転板でごみを巻き込んでいきます。



可燃ごみ投入の様子

プレス式

プレス板でごみを圧縮していきます。



粗大ごみ解体の様子

収集後は...

6 ごみの排出

収集車から、ふじみ衛生組合のごみピットにごみを投入している様子。**巻込み式**の収集車は荷台を持ち上げて**重力**で、**プレス式**の収集車は排出板で**ごみを押し出して**排出します。



7 洗浄

収集する**ごみの種類が変わる前**や**一日の収集終了後**、荷箱を洗ってきれいな状態を保ちます。



収集員さん

市では(株)調布清掃と(株)吉野清掃の2社に、ご家庭から出るごみの収集を委託しています。



調布清掃の井手さん(左)と吉野清掃の吉野さん(右)

令和6年度版 調布市ごみリサイクルカレンダー配布のお知らせ

令和6年度版(令和6年4月から令和7年3月まで)のごみリサイクルカレンダーを1~2月上旬に**全戸配布**予定です。来年度の4月まで、大切に保管してください。

令和6年度は茶色です!

調布市ごみリサイクルカレンダー

※画像はイメージです。

042-306-7231

※令和6年2月7日から市内公共施設でも配布予定

おむつ袋の交付窓口が増えました

西部公民館・北部公民館で配布開始

おむつ袋の交付場所一覧

上記の他、市役所2階ごみ対策課窓口、クリーンセンター、神代出張所、各地域福祉センター、市民プラザあくるす2階・3階、子ども家庭支援センターすこやか(ココスエア2階)、各児童館、子ども発達センター

①指定窓口以外では交付していません。
②市役所はごみ対策課窓口(2階) ※のみでお渡ししています。
※月~金曜日、午前8時30分~午後5時15分(年末年始、祝日を除く)

西部公民館 北部公民館

令和4年度 **ごみ量・経費について**

家庭や事業所から出るごみ		
燃やせるごみ 34,974トン	燃やせないごみ 3,101トン	有害ごみ 83トン
粗大ごみ 2,087トン	ペットボトル 1,002トン	容器包装プラスチック 4,045トン
古紙 8,650トン	古布 1,176トン	カン 601トン
牛乳パック 21トン	ビン 1,782トン	使用済小型家電 5トン
資源物集団回収 3,198トン	集団回収奨励金 3,808万円	
収集運搬にかかる経費 14億円		
総ごみ量 60,725トン (1人1日あたり697グラム)		
総ごみ処理経費(清掃費) 30億円 (1人あたり約12,000円)		
人口 23万8,713人 (令和4年10月1日現在)		

可処分ごみ処理施設	燃やせないごみ・資源物処理施設
ふじみ衛生組合 クリーンプラザふじみ	ふじみ衛生組合 リサイクルセンター
調布市クリーンセンター	

中間処理費 3億6千万円

最終処分費 4億2千万円

総資源量 24,771トン

総ごみ処理経費(清掃費)の30億円の中には、管理経費など約7億円が含まれています。
※単位未満四捨五入のため数値が一致しない場合があります。

粗大ごみ再生品販売

販売点数 1,039点
売却金額 101万円

三多摩は一つなり交流事業を実施しました

令和5年10月21日(土)、調布市の可燃ごみの焼却灰の最終処分を受け入れていただいている日の出町の方々(30人)をお迎えし、「三多摩は一つなり交流事業」を実施しました。この事業は、最終処分場のある日の出町との相互理解を深める目的で、平成11年度から行っており、今年で23回目を迎えました。

まず、二ツ塚処分場とクリーンプラザふじみを見学し、深大寺を散策後、深大寺本堂において「落語」を鑑賞しました。

落語の演者は、春風亭柳好さんと春風亭柳太郎さんのお二方で、参加された皆さんに、ご好評をいただきました。

落語鑑賞の様子